

CPSV（進路相談員）だより

「キャリア形成視点での進路指導を！」

教職員の皆様へ
第2号
北海道教育庁胆振教育局
CPSV（進路相談員）
西 智 子
令和5年8月

いつも大変お世話になっております。キャリアプランニングスーパーバイザー（進路相談員）西です。終身雇用が崩れ、人手不足からAI化、ロボット等に代わる「なくなる仕事」が出てくると言われて既に10年ほど経ちました。更に、激動の社会情勢です。未曾有の出来事（コロナパンデミック、震災など）などが、雇用情勢に大きく影響を与えています。とはいえ高校生の就職は、少子化を受け「働き手を求めて」売り手市場が続いております。（進学希望者は増加傾向）ですが、早期離職の課題は変わりません。加えて【様々な夢・希望をもつ生徒】並びに【多様さ・生きづらさなどの困難さを抱える生徒】も見受けられます。その点を考えると、これまで以上に、一人ひとりの生徒に丁寧な進路指導が必要となります。進路指導が進学や就職合格で終わらぬように！足下を踏み固め【早期からのキャリア視点※】を忘れずに！【キャリア形成視点での進路指導を！】・進学の先の就職・進路の先にあるキャリア・勤労観や職業観の醸成など、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

※進路指導に役立つ視点●「キャリア理論」『4つのS』をご紹介します。N.K. シュロスバークの理論の中に、「転機に対処する」という考え方があります。転機を乗り越える為に、リソース（資源）を点検します。状況（Situation）自己（Self）支援（Support）戦略（Strategies）の各頭文字の“S”です。生徒は、目前に迫った転機を乗り越える為に「自分のおかれている状況・考え方を確認し、支援を活用し（情報を収集し）戦略をたてます。※先生が早いうちから生徒の強みに気づき、生徒が転機を乗り越えるための戦略を促してあげたら、生徒の進路活動がより明確になります。それぞれの生徒に合った支援が見えてくるのではないかと思います。

《 R5年10月からのご提案 ご検討下さい 》

■ 内定者向け講座

社会人としての心構え（マナー・電話対応など）
早期離職（長く働くために、労働法）など

■ 未内定者向け講座

これから面接に臨む皆さんへ
求人票・志望動機と自己理解を見直す。動機づけする。自分を信じて諦めない。周りのサポートを受ける。

■ いぶりキャリア塾

《 新プログラム企画 》

対象：1年生（2年生対象可。学年毎）

- ・早期キャリア育成が必要と思われる生徒
- ・自分と向き合いたいと思っている生徒
- ・「自己理解」が必要と思われる生徒
- ・早めの進路準備が必要と思われる生徒
- ・自分のペースで進みたい生徒
- ・コミュニケーションが苦手な生徒

進学・就職問わず、キャリア形成の土台となる「自己理解」と「コミュニケーション力」を段階的に構築する。自己効力感UPを目指し、主体的なキャリア形成に繋げる。

予定：R5年10月、12月、R6年2月 計3回（予定）

1. 自己理解①とsmallコミュニケーション
2. 自己理解②とmiddleコミュニケーション
3. コミュニケーション 自己紹介をしよう

SST：ソーシャルスキルトレーニング使用

※グループワークプログラム（3名から）対応可

※ ZOOM での面接指導（個人面談）承ります！（随時）